

荒川区の教育を考える

区立小中の教育環境整備と 少人数学級そして学校選択制



原中は、2階から4階に各4クラス分の普通教室があります。

原中の新入生150人近くになり5学級？
教室不足は明らか：教育環境整備が課題

卒業式、入学式の季節です。希望と不安が入り交じった中にも、春の日差しが前途を祝しているようです。

今回、卒業式に参加して思ったことは、子ども達の教育環境を考えた場合、はたして学校選択制をこれまで通り続けて良いのか、少人数学級の拡大を考慮しないのかなどいくつかの疑問が出てきました。

このところ、原中学校は、希望者が増え、各学年4クラスを前提にした学校規模では、対応できない事態が出ています。小中とも1年

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

570

2015年3月29日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

2015年度希望校受付後の町屋地域の状況 小学校

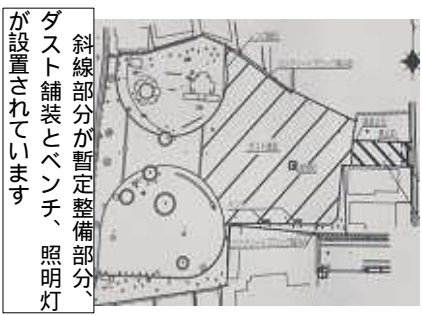
学校名	抽選	受入可能		申込者数		
		学級数	数	男	女	合計
第四峡田小学校	抽選	2	66	33	54	87
第五峡田小学校		3	99	72	14	86
第七峡田小学校	抽選	2	66	66	5	71
大門小学校		2	66	15	10	25
尾久小学校	抽選	2	66	55	20	75
ひぐらし小学校	抽選	2	66	79	18	97
中学校						
第五中学校		4	133	65	38	103
原中学校		4	133	97	57	154
尾久八幡中学校	抽選	4	133	139	119	258
諏訪台中学校	抽選	4	133	216	16	232

生が35人学級です。そのため原中は、来年度も1年生が5クラスになり、2年、3年も生徒数増で4クラスです。既に普通教室が不足する事態です。当面は、特別教室の転用で対応し、今のところ何とかなるようです。現在は、2年生以上が40人学級なので何とかなっています。しかし、政



府も国会答弁で35人学級を順次拡大すると約束しています。また、少人数学級の流れはもつと進んでいくでしょう。このままでは、明らかに教室が不足してしまいます。教育に必要な特別教室をつぶすなど教育環境の劣化が心配です。地域との関係や将来の全学年少人数学級も見据えた対応が必要です。

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。



斜線部分が暫定整備部分、ダスト舗装とベンチ、照明灯が設置されています。



まちの話題あれこれ

藍染公園の町屋ひろば館跡地が暫定公園へ
2016年から住民の声も聞き本格整備の予定

町屋1丁目の藍染公園もすっきり変わりました。町屋ひろば館跡地の暫定整備もほぼ終わり、もうすぐ使えるでしょう。

今後は、2016年から本格的な公園整備に着手するとしています。もともと大型児童館が存在し、多くの子どもたちが通った場所です。すぐ近くには、児童事業を行う町屋ふれ

あい館、大型の認可保育園がつくられています。いずれの施設も屋外で遊ぶスペースがありません。住民の意見とともに子どもにとつてよりよい公園にして欲しいと願うのですが、。

横山幸次

裏面 共産党提案の教育、子ども関係条例案...など

定例法律相談会

4月6日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

共産党提案の学校給食無償化、医療費18才まで無料化、小中学校入学祝い金…は、憲法や児童福祉法の理念具体化

2月区議会で共産党が提案した教育、子育て支援の3条例案について提案した理由など賛成討論の要旨をお知らせします。ご意見をお寄せください。

学校給食無償化について

現在保護者負担になっている給食食材費を全額助成し、憲法の義務教育無償に近づけ、子育て支援の充実にめざすものです。

就学援助による給食費等の助成は生活保護の1・2倍の収入以下で税や社会保険料など考えらる必要な方への支援は十分ではありません。そのため所得制限をもうけず、助成をおこなうことが重要です。

また未納がなくなり食材購入と給食提供の安定性を確保することができ、教員の負担軽減にもなります。義務教育無償化の理念の達成にとつて重要な課題です。

学校給食無料化（一部無料も含む）は、全国50以上の自治体で実施...

学校教育で「食育」が重視される中で、学校給食を教育の一環にしていく取り組みが全国で行われています。また少子化対策として、保護者の教育費負担軽減を目的に学校給食の無料化を実施する地方自治体が増えています。公明党は、反対討論を行いました。公明党の他自治体議会議員や国家議員の中には、「食育」から無料化を公約する人もいますが、どう説明するのでしょうか...?



本来18才までの医療費無料化に本来なら国が制度化すべきです。しかし国がやるまで待つのでは、くらし守る地方自治体の役割が果たせません。現在、全国160余りの自治体が無料化に踏み切っており、地方自治体の実施することによって国を動かすことができます。



小中学校入学祝い金について

小学校、中学校、特別支援学校小学部、中学部に入学する児童、生徒の入学を祝い、保護者に対し、小学生2万円中学生3万円の入学祝金を支給するもの。少子化の要因に教育費など重い経済的負担があります。

小・中学校の入学準備に必要なお金はランドセル一つとっても3万から5万円。中学生は学校指定の制服、運動着、靴、カバンなど7〜8万円が必要。就学援助と生活保護の入学準備金ではこの経費は賄えません。

子育て世代の負担軽減を図り、区として子どもたちの成長を支援することが必要です。

18才まで医療費無料化について

子どもの権利条約はゼロ歳から18歳までを対象に「最善の利益」を掲げ、生存・発達保障、健康・医療の確保などを求めています。日本の児童福祉法も同様です。

「あらかわ区報」が申し込めば定期的に届きます

区内にお住まいで、新聞を購読していない方には、あらかわ区報をご自宅にお届けします。対象 区内在住の方 送付する区報は、1世帯に1部です。

申し込み方法

下記の電話またはファクスで「区報配布希望」・住所・氏名・電話番号を伝えてください。

区報と「区議会だより」（年4〜5回）を発行から3日以内にシルバー人材センターに委託してポストまで届けます。

[中止する時や住所変更も広報課広報係へご連絡ください。]

広報課広報係 3802-3111 内線2132
FAX 3802-0044



サンパール荒川・大規模改修工事はじまります 一年間、歩道と敷地内通路も通行止め...

いよいよ4月1日から1年間の予定で、サンパール荒川の大規模改修工事がはじまります。20億円以上の費用をかけ、外壁内装、設備の更新（狭いと不評の大ホールの椅子も改善）など全面的な改修が行われます。当然、その期間、施設が使えません。

同時に、建物に沿った歩道も改修されます。そのため、歩道と敷地内の通路も全面的に通行止めになります。少しと大回りすることになりそうです。また建物長寿命化の検証も必要です。区は、改修後10年建物寿命を延ばすことを想定しています。

躯体の劣化度合いなどから今後の方向性を考える必要があります。

